

早濑川・老馬谷ガーデン報告書

東京都市大学 情報システム学科 高野 雄

◎参加経緯

荒井会長に誘われたときは驚きました。私は情報システム学科ですが、知識はなくとも体力仕事ならできるし手助けくらいにはなれるだろう、そして専門外のことを体験できるいい機会でもあると思い、後半期頃に都市緑化研究会に参加させて頂きました。

◎主な作業

体力仕事ばかりでした。しかしそれだけ自分にもやれることが多いわけなので少し嬉しくもありました。

- ・ヒメツゲを植えるための土堀
- ・桐蔭横浜大でヒメツゲなどの植物の運搬作業：重労働でした。運搬の大変さを知らされました。
- ・地域の方々、行政の方々と協力して種まき：環境に関心が高い地域であるからなのかもしれないですが、こんなに参加してくれる人達がいるのかと驚きでした。また、区長や議員さんも参加して下さり、関心を持って頂けているのは強いなと感じました。
- ・ポリタンクが配備されるまでバケツリレー：台車を使用しても、手でも水のロスがあり効率はあまり良くありませんでした。また、水の確保は大きな課題であると感じた瞬間でもありました。ポリタンクに水が入ったときは非常に助かりました。
- ・ヒメツゲ等木の植え直し：プロの方が来られた時にヒメツゲなどの「植え方が甘い（これは植えてるのではなく、置いてるだけだ）」と指摘を受けたので植え直しを行いました（実際木を触るとグラグラする状態でした）。方法としては、水を多めにかけて木を上下に動かして根が動かなくなるまで繰り返す（空気を抜いていく）を行いました。こうすることでしっかり水が行き届いて木が枯れることもない、とも仰っていました。

◎ヒメツゲ生垣エリア





ヒメツゲを始め、ポピー、ネモフィラ、ヒナゲシ、チューリップ、さくら、ももなど多彩なエリアになりました。

◎今後について

早淵川・老馬谷ガーデンは4月1日をもってオープン、これはとても喜ばしいことでもあります。しかし日経つ毎ごとに雑草が際限なく増えていき、広いので水やりもなかなか大変です。今後は維持管理の課題を解決していかなければいけません。私は専門分野の技術で解決できるように模索していきたいと考えています。